

「明けない夜は」

シナリオ事前公開情報

本作は「ロンメルゲームズ」及び「株式会社KADOKAWA」が権利を有する『デッドラインヒーローズRPG』の二次創作です。

(C)Takashi Osada / Rommel Games (C)KADOKAWA

シナリオ作成: 遥 唯祈(Twitter:@HAL_2002)

配布: <http://card.zero-the.fool.jp/>

■シナリオデータ

プレイヤー: 2人 / 消費成長点: 0~10

プレイ時間: 3~4時間

リトライ: 3

初期グリット: 2

チャレンジ: 1~3 (選択肢によりバトルとトレードオフ)

クエリー: 6 (うち事前クエリー2)

・基本ルールブックのみで遊べます

■トレーラー

人工島を使った華々しい新テーマパークは、丸ごとそのものがヴィランの作った罠だった。居合わせたヒーローが立ち上がり、並み居る敵を退けながら人々を逃がし、船に乗せた。殿をつとめ、囷となって、何とか彼らを脱出させた。獅子奮迅の大活躍、これは、その後の物語。

ふたりのヒーローは敵陣に取り残された。どうにか身を隠したが、どちらも既に満身創痕。大規模な計画を邪魔されたヴィランは血眼になって彼らを探している。G6からの救援が来るのは夜明けだという。今度こそ生きては帰れないかもしれないという状況になって、ふたりはそれぞれふと思う。

これが最後になるのなら、お前に訊きたいことがある。

デッドラインヒーローズ RPG

「明けない夜は」

■PC間の設定補助チャート

※以下のチャートを使用する場合は、こちらを決めてからエントリーを選びに行くのがお勧めです。
(既存PC同士であったり、既に設定がある場合には、もちろん使用しなくて構いません)

▼2人の関係チャート

※2人セットで1つを、相談して選ぶか、ID10を振って決めて下さい。

- (1)バディ
- (2)かつてバディを組んでいた
- (3)師弟
- (4)ライバル
- (5)ライバルだがPC1がPC2に勝てたためしがない
- (6)セカンド・カラミティで共闘し、共通の仲間たちを失くしている
- (7)幼馴染
- (8)きょうだい(あるいは義兄弟)
- (9)2人の間にはある重要な契約が結ばれている
- (10)PC1がヒーローになったきっかけはPC2だった

▼2人が一緒にいた理由チャート

※2人セットで1つを、相談して選ぶか、ID6を振って決めて下さい。

- (1)本当に全くの偶然
- (2)このイベントを怪しんでふたりで組んで潜入していた
- (3)一緒に遊びに来ていたのに運悪く
- (4)PC1がG6からの調査依頼を受け、PC2がそれに手を貸した
- (5)共通のヴィラン(ローレイ)の情報を追ってきて出会った
- (6)NPCのG6ヒーローが共通の知人で、それぞれ彼を手伝いに来ていた

■エントリー

▼共通部分

救い出した人々と負傷した同僚を船に乗せた君たちは、人工島「ラグーン」に取り残された。
満身創痍で、敵の手中たる絶海の孤島に二人きり。生きて朝を迎えることはできないかもしれないという時になってふと胸を過ぎったのは、隣に居る相手に関わる心残りだった。それは――

▼個別部分(選択制/RoC)

※PC1、PC2それぞれ1つずつを選んでください。(相手PC名)は相手のPCの名前が決まり次第書きこんでください。

※()には内容を自由に書き込み、セッション開始より前にGMともうひとりのPLさんに確認してもらって下さい(事前クエリー)。

(1)

キミは過去、別のテーマパークを舞台に(相手 PC 名)と共にヴィランと戦い、人々を守ったことがある。正確にはたった一人、守りきれなかった()がいた。その後、あの事件について(相手 PC 名)と話す機会はないはまだ。

(2)

以前、(相手 PC 名)がキミを庇って大怪我をしたことがある。そんなことをする理由はないはずだった。その時キミは()のだから。どうして(相手 PC 名)がそうしたのか、キミには今でも分からない。

(3)

キミは以前、とある死地に向かう前に、大切なものを(相手 PC 名)に渡したことがある。それは()だ。
今さら返せと言うつもりもないが、(相手 PC 名)はあれをどうしただろう。こんな時に、ふと気になった。

(4)

キミと(相手 PC 名)は、ここへ到着するまでに大喧嘩をしている。()に関する事が原因だ。
実のところ、まだ仲直りできていない。
このままこれきりになってしまつては寝覚めが悪い。癪だが、どこかで切り出してみようか……。

(5)

キミは(相手 PC 名)に、ひとつ大きな嘘をついている。それは()に関することだ。こんな時になって、それは小さな棘のように胸の奥で痛み出す。

(6)

キミは(相手 PC 名)に密やかな恋をしている。だが()という理由から、未だ伝えることができていない。

(7)

キミは(相手 PC 名)のことを、今の世界になくはならないヒーローだと思っている。()というのがその理由だ。
できることならこの地から、(相手 PC 名)だけでも生きて帰らせたいと考えている。

(8)

キミは近年、ヒーローとして期待に応え続けることに限界を感じていた。()からだ。
(相手 PC)の戦う姿を見るたび、訊きたい気持ちを募らせてきた。なぜ、そしていつまで、お前は――

(9)

キミには、(相手 PC 名)をいつか連れて行くと約束した場所がある。それは()だ。結局、約束はまだ果たせていない。果たせないままになるかもしれない。

(10) (任意選択・危険球/GMはこのエントリーを最初から選択肢から外しておいても構いません)

キミは実は()からG6に潜入中のスパイである。(相手 PC 名)を暗殺せよとの指令を受け、虎視眈々と機会を狙っていた。だが()のために、手を出せないままにここまで来てしまった。